

キルギス国別研修 「産官学連携による民間獣医サービス強化」

対象国 : キルギス共和国
受入人数: 10名
受入期間: 2020年2月12日～2020年2月28日



中央アジアに位置するキルギス共和国では、集団農場体制のもとに整備されていた家畜防疫体制がソ連崩壊とともに消滅し、家畜の疾病の蔓延が畜産振興、特に近隣諸国への畜産物の輸出の障害となっています。その問題を解決するために獣医サービスの強化が望まれています。

本研修では、獣医師の研修員10名が、酪農王国・十勝で日本の獣医療の実例を学び、キルギスにおける民間獣医サービス向上の取り組みの着想を得ることを目的として実施しました。

日本で幅広い知識を得た研修員は、家畜防疫体制の強化、獣医人材の育成に加えて、家畜改良や適切な飼養管理・飼料設計を通して牛乳と牛肉の品質の向上を目指したいと意気込みを新たにしました。



日本の獣医療に関する法律や制度、関係機関の役割等について、幅広い知識を得ました。



十勝農業協同組合連合会化成事業所と北海道十勝家畜保健衛生所BSE検査室が、家畜防疫において重要な役割を果たしていることを、視察を通して理解しました。



十勝農業共済組合中部事業所では、第四胃変位の手術を見学し、日本の獣医師の技術の高さに感銘を受けました。



十勝農業協同組合連合会畜産検査センターで生乳分析を視察し、衛生的で高品質な牛乳を流通させるために、多くの努力がなされていることを理解しました。